

ハウス防虫ネット効果確認試験

JAふらの
萩原 弘之

試験目的

ハウス防虫ネットの色の違いによる効果比較

試験作物
及び品種

長ねぎ

試験資材
及び数量(規格)

赤いサンサンネット(0.06mm×1.5m×100m)

慣行資材

サンサンネット(0.06mm×1.5m×100m)

栽培方法

収穫日

9月上旬

資材使用期間

5月中旬～9月上旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

作業性については慣行品と変わらない。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と比較して変わらなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

慣行品と比較して優位点は特になかった。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と比較して変わらなかった。

(5)雑草・病害虫の発生について

病害虫の発生については、ネットにより抑えられているが、色の違いによる優位性はあまり感じられない。

モニター感想

スリップスの防虫効果はあるので、UVカットフィルムとの組み合わせでより防虫効果が出るが、ゼロにはならないと感じた。ただ、防除費のコストを考えると、虫がハウス内に入る総数が少なくなることで繁殖力も抑制されるので、ネットを使用することでコスト低減につながっている。

また、空気が滞留するとハダニが増えるが、今年は高温だったにもかかわらず、発生は少なかったため、空気の滞留はしていなかったものと考えられ、0.06mmの目合いでも通気性は良好だと言える。

ただ、今回の試験では白と赤による差というものは

確認できなかった。

JA担当者の感想(横市 氏)

防虫ネットとしての効果は見られたが、色を付けたことによる優位性については残念ながら今回の試験では確認することが出来なかった。

しかし、試験としては非常に面白いものだったので、新しい資材があれば今後も紹介していただきたい。

今後の使用について

虫が赤い色を嫌うという根拠がよくわからないが、試験結果でも差は見られなかったなので、色を変える必要性は今回の試験ではあまり感じられなかった。

将来希望する資材について

農薬等が直接作物にかからず使用でき、効果の高い害虫忌避資材。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材